

(仮称) 藤野テレワークセンターについて

**(中山間地域における新たなライフ
スタイル・ビジネススタイル推進事業)**

**令和3年1月
相模原市**

事業の目的と背景

- 新型コロナウイルス感染症により、都市部の過密さがリスクであることに気づいた。
- 地方移住への関心やテレワークニーズの高まりなど、暮らし方・働き方に変化が生じている。

➡ 中山間地域が注目されている今こそ好機！

市総合計画及び緑区基本計画に位置付けた交流・関係人口の創出、移住・定住の推進等、中山間地域振興策の更なる推進が必要。

- 中山間地域における新たなライフスタイル・ビジネススタイルの推進に向けた取組をチャンスを見逃さず展開
 - ・テレワークセンターの実証運営を行い、多様な働き方の支援、関係人口創出等、移住につながる効果的な取組について検証

テレワークセンター実証環境整備・実証運営事業

■ 事業概要（実証環境整備）

低利用施設（藤野総合事務所会議室棟）を テレワークセンター実証環境にリノベーション

- 対象施設：藤野総合事務所会議室棟（緑区小淵2012 藤野駅徒歩3分）
平成4年2月竣工、3階建・延床面積約300㎡（2・3階:会議室）
- 主たる選定理由：
 - ・ 自然豊かな環境でありながら都心まで60分程度でアクセス可能
 - ・ 会議室としての利用頻度が低く、現在の業務に支障をきたすことなく活用が可能
 - ・ 駅近接で実証環境として適しており、他に同等の物件がない



テレワークセンター実証環境整備・実証運営事業

■テレワークセンターの利用者像

□コアとなる利用者像

都心部在住者

- ・ これからの暮らし方、働き方を模索している者（企業）
- ・ 地域に関わる意欲を一定程度持っている者（企業）
 - ▶ SDGsのソーシャルベンチャー
 - ▶ 藤野に住むアーティスト・クリエイターとの協業による商品開発、デザイン制作等を求める者（企業）
- ・ ワークেশョン・アイデアハッカソンを希望する者（企業）

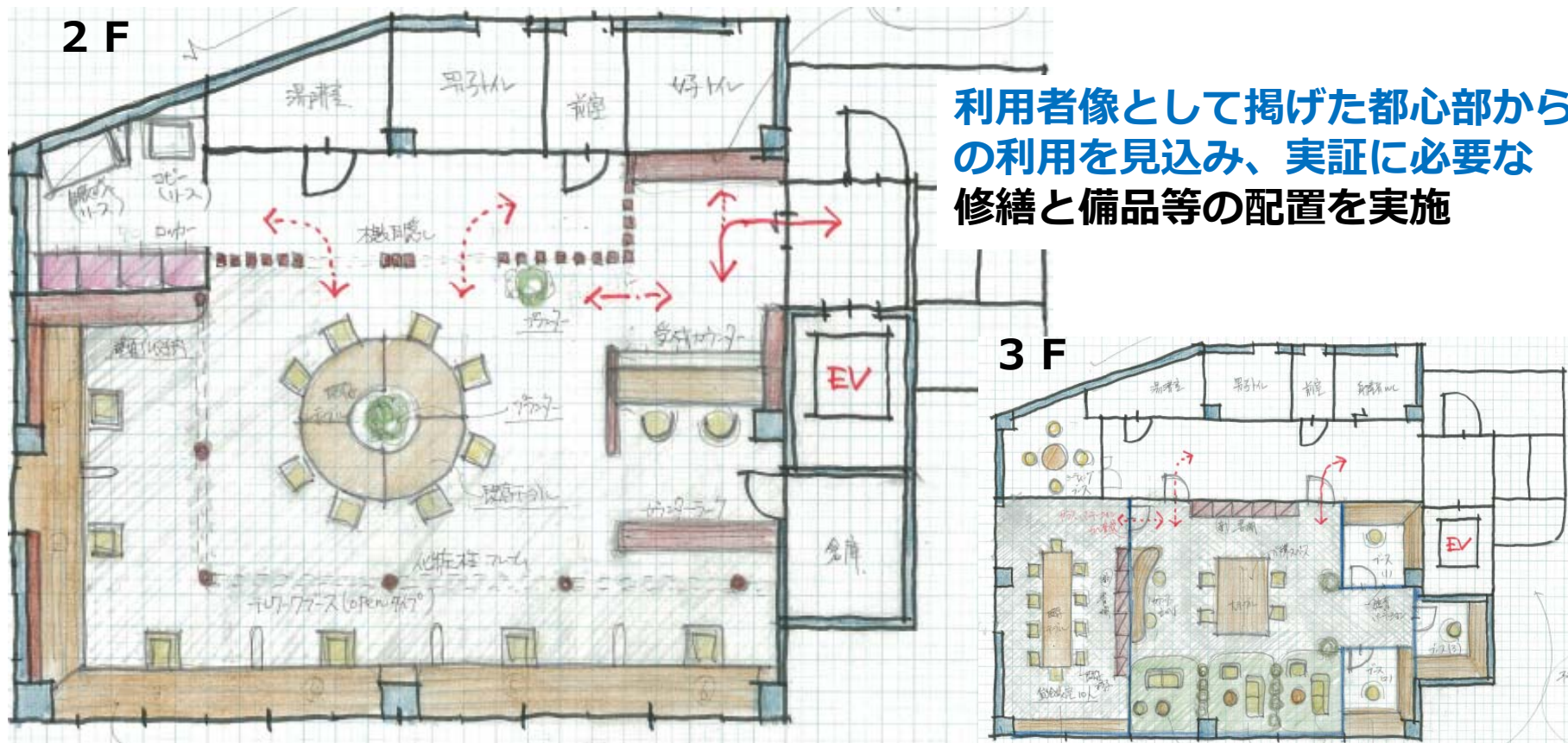
□サブとなる利用者像

藤野エリア在住者

- ・ 都市部通勤のビジネスパーソン
- ・ フリーランスの個人事業主、アーティスト

テレワークセンター実証環境整備・実証運営事業

■テレワークセンター実証環境仮イメージ コンペ中 (2F: コワーキングスペース、3F: シェアオフィス (個室主体))



□空間 (備品配置等)、通信環境整備・空調設備、電気設備修繕等

テレワークセンター実証環境整備・実証運営事業

■ 事業概要（実証運営）

多様な働き方の支援、関係人口の創出、ひいては移住・定住の推進に結び付く取組の推進に向けて、テレワークセンターの実証運営を行う。

□ テレワークセンターの主な実証内容

- ・利用者ニーズの把握・分析
- ・セミナーの実施と効果の検証 等

□ 実証運営団体

- ・民間事業者

■ テレワークセンターの機能

ビジネスマッチング機能等を付与したテレワークセンター
(コワーキングスペース、シェアオフィス等)

テレワークセンター実証環境整備・実証運営事業

■ 実証運営において目指すもの

○センターを通じて**新たに仕事・雇用の機会を増やしたい！**

○とにかく**面白いことをやりたい！**

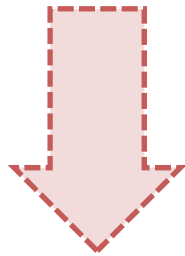
- ・働き+α（観光・農業・ハイキング・ゴルフ・釣り・ツーリング）を提供する
- ・周辺地も含め都心企業における実験フィールドを提供する
- ・映像作品の活用拠点を提供する
- ・都内と地域でつながりSDGsの取組最先端地域にする
- ・先端ICTを活用・導入して地域の暮らしを良くする
- ・セミナーなどを通じたビジネスマッチング機会を提供する

※今の藤野等の環境を大事にすることを前提とし、大企業の誘致等の取組とは異なります。

○**地域とのつながりから関係人口を増やし、移住につなげたい！**

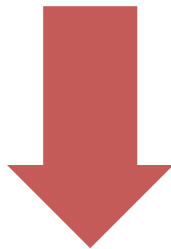
事業スケジュール(予定)

令和2年12月



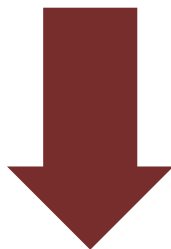
実証環境整備 (リノベーション)

令和3年7月頃



実証運営※並行して本格運営に向けた検討

令和4年4月以降



本格運営開始